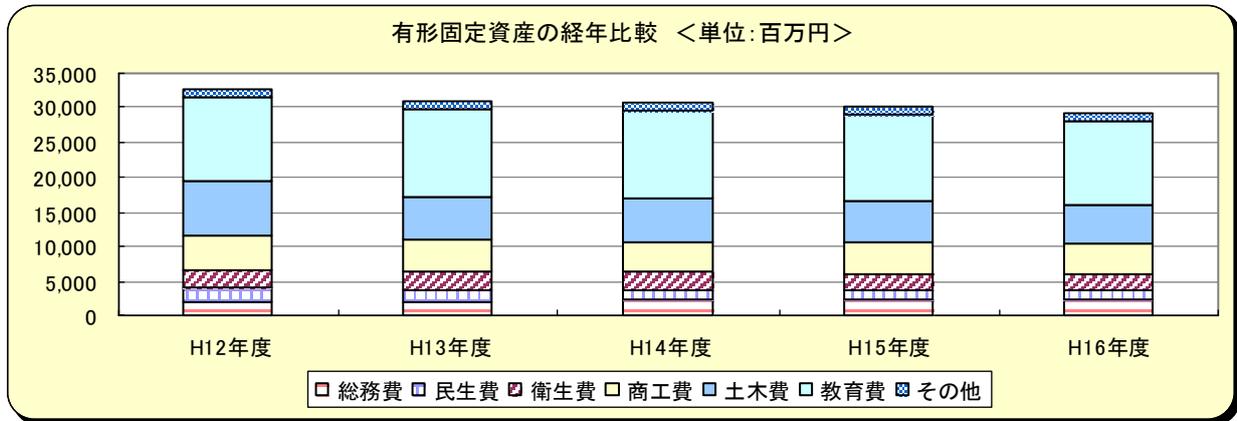


## バランスシートを使った財政分析

【グラフ1：有形固定資産の経年比較】

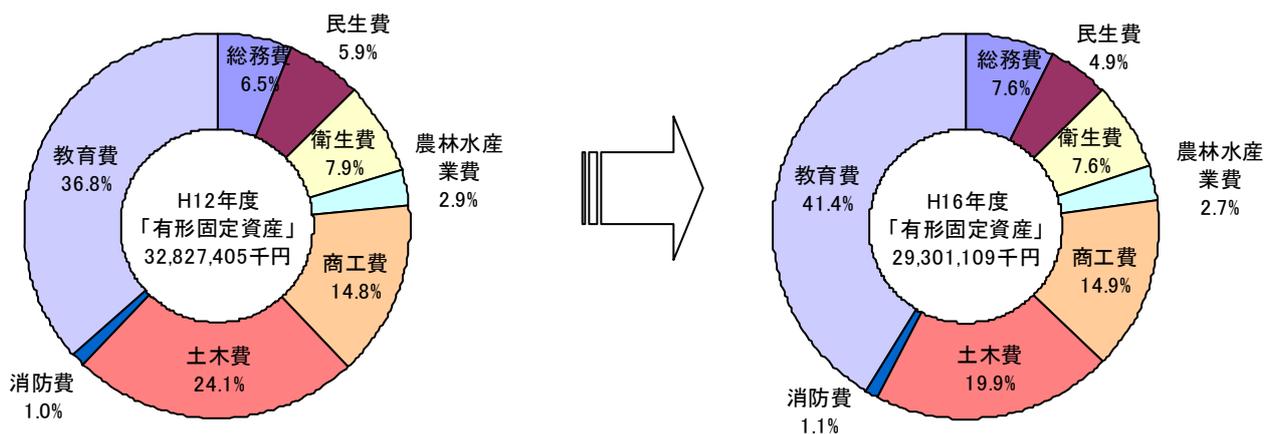


◇◆目的・見方のポイント◆◇

総務費、民生費などの目的別に経年比較をすることで、資産構築の状況や資産の推移がわかります。

- ・有形固定資産の総額は H12 年度 約 328 億 2741 万円から H16 年度 約 293 億 111 万円、35 億 2630 万円 (△10.7%) 減少しています。
- ・教育費は、H12 年度と比較すると若干増額となっているものの、その他は減少しています。資産の減少は、町の施策がハード事業からソフト事業重視へ転換してきていることも影響しています。

【グラフ2：有形固定資産の構成割合】

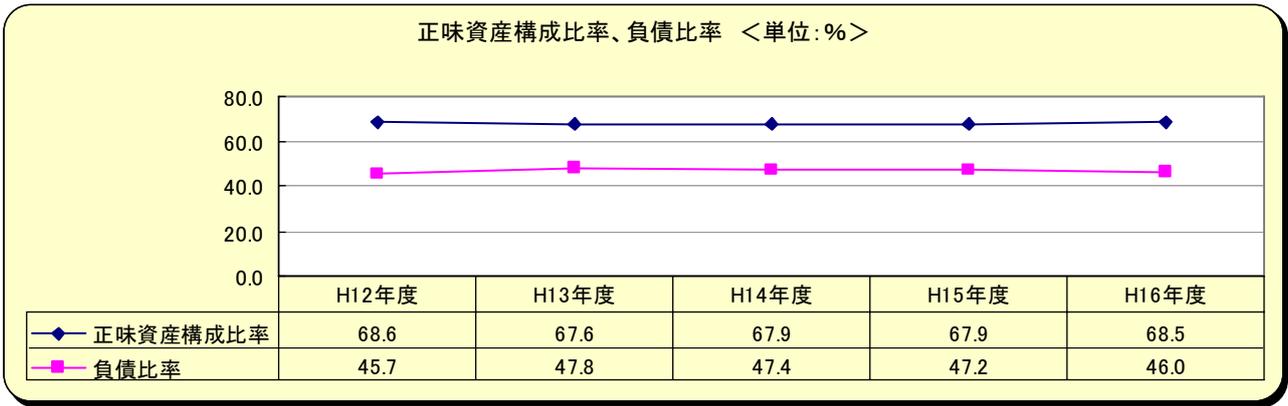


◇◆目的・見方のポイント◆◇

目的別の有形固定資産の構成割合を比較することにより、資産形成の比重がわかります。

- ・教育費、土木費で全体の6割ほどを占めており、資産形成の比重が高いことがわかります。
- ・教育費の増加は、町立図書館建設や北小体育館の改修等が関係しています。(H12 年度 36.8%→H16 年度 41.4%)
- ・総務費の増加は、防災センター建設等が関係しています。(H12 年度 6.5%→H16 年度 7.6%)

【グラフ3：正味資産構成比率・負債比率】



◇◆目的・見方のポイント◆◇

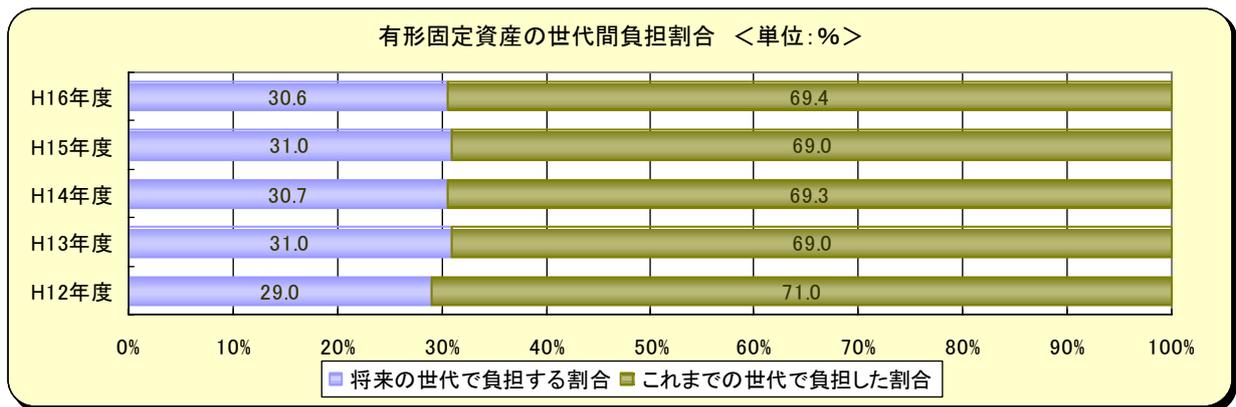
正味資産構成比率・・・町の総資産のうち、国・県の補助金や町税等を使って取得した資産の割合を示しています。割合が高いほど財政が安定しているといえます。

$$\text{正味資産構成比率} = \text{正味資産} \div \text{総資産} \times 100 (\%)$$

負債比率・・・・・・・・町の負債の正味資産に対する割合を示しています。割合が低いほど財政が安定しているといえます。

$$\text{負債比率} = \text{負債} \div \text{正味資産} \times 100 (\%)$$

【グラフ4：有形固定資産の世代間負担割合】



◇◆目的・見方のポイント◆◇

学校や道路などの資産形成にあてられた財源のうち、地方債などにより将来の世代で負担しなければいけない割合と町税等によりこれまでの世代で負担した割合がわかります。

- ・ 下諏訪町の有形固定資産は、地方債（借金）により資金を調達した割合が3割ほど残っており、将来の世代で負担しなければなりません。ただし、学校や道路などの資産は長期にわたり利用されるため、世代間で適切に負担をしていくことが求められます。